

第五回 琉球・中国交渉史に関するシンポジウム 論文集

目次

第五回シンポジウムの開催にあたって	沖縄県教育委員会教育長	安室 肇	(1)
第五回シンポジウムの開催にあたって	中国第一歴史档案館副館長	楊 継波	(3)
朝貢関係から見た明代中琉関係の変化とその意味		生田 滋	1
雍正朝における中琉漂流船相互救助について		李 国栄	25
清の道光年間における中琉関係の研究		方 裕謹	45
清初における琉球への対応について		呉 元豊	73
清代乾隆前期における琉球銅について		朱 淑媛	91
存留通事の職と使命			
— 乾隆十一年の漂着事件の処理をめぐる —		田名真之	111
第五回シンポジウムに関する新聞資料			147

第5回
琉球・中国交渉史に関するシンポジウム
会 議 次 第

1999年3月6日(土)9:00~17:15 会場:沖縄県公文書館

9:00 開 場

9:15~9:30 開会の辞 沖縄県教育委員会教育長 安室肇
中国第一歴史档案館副館長 楊継波

9:30~11:45 (午前の部 議長:神田信夫)

論題① 生田滋「朝貢関係から見た明代中琉関係の変化とその意味」
(通訳:崎原麗霞)

論題② 李国栄「雍正朝における中琉漂流船相互救助について」
(通訳:伊禮よしの)

論題③ 方裕謹「清の道光年間における中琉関係の研究」
(通訳:渡邊ゆきこ)

13:00~15:15 (午後の部 議長:金城正篤)

論題④ 呉元豊「清初における琉球への対応について」
(通訳:津波真一)

論題⑤ 朱淑媛「清代乾隆前期における琉球銅について」
(通訳:外間美奈子)

論題⑥ 田名真之「存留通事の職と使命」 (通訳:田川雅子)

15:20~17:00 (総括討論 司会:濱下武志・高良倉吉)

通訳:渡邊ゆきこ・崎原麗霞)

コメンテーター 糸数兼治・小島晋治・西里喜行・豊見山和行・
真栄平房昭・上里賢一

17:00~17:15 閉会の辞 挨拶

(歴代宝案編集委員会委員長 神田信夫)